

平成28年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】○道徳の授業を中心とした「豊かな心」の育成に全職員で取り組んでいる。特に、年間を通して道徳実践力を高め、規範意識を育てることで「3」「4」も割合が高い。今後も、子どもの実態を的確に把握し、道徳の授業の質の改善を図っていききたい。○いじめや問題行動の対応については、「1」「2」が1割である。いじめ未然防止に向けて、子どものよさや特性を伸ばし自己有用感を高めていききたい。アンケート等の結果をふまえた教育相談体制の充実をさらに図っていききたい。○児童理解朝会を毎月行い、家庭や関係機関と連携を図りながら、集団づくりを進め心の居場所づくりに取り組んでいる。月末の校内支援委員会を通して、校内支援体制の充実及び関係機関との連携の充実、資質能力の向上を図り、効果を上げている。</p>		

### ②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○研修体制の改善を行い、授業力の向上を図るために、一人一研究授業を行っている。ICTの効果的な活用を行うなど、教材研究の可視化を目指している。具体的な実践研究を系統的に積み重ね、学力の充実を目指したい。○総合的な学習の時間の充実においていずれも「3」「4」の割合が増えている。人材リストの作成を行い、授業の準備や交渉等、時間を要するが、子どもの主体的活動が保障されるよう今後も地域・保護者との連携を深めた取組を行いたい。</p>		

### ③健やかな体を育む教育の推進

#### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】休み時間での外遊びは楽しんで活動している。しかしながら、体力づくりを通して、個人の伸びを楽しんだり、集団遊びを通して高め合う週間の形成を全校的に計画的に取り組んでいきたい。

### ④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

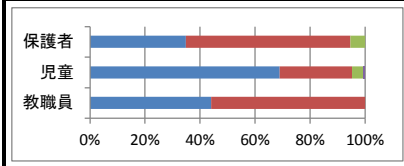
<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○校内研修を通して、さまざまな課題についての研修を行い教育相談力の資質向上を計画的に行っている。また、児童生徒理解（低・中・高学年）、校内支援委員会を中心に、情報の共有を行い、すべての職員で全児童の家庭的な背景を理解し教育実践を行っている。課題のニーズによって、関係機関との連携を深め、迅速かつ適切な対応ができる組織的な取り組みをおこなってきた。○教師の日常的な観察、交友関係の把握、毎月の東っ子アンケート等をもとに、個別の教育相談を行い、人間関係の修復を行ったり保護者との教育相談を行ったりしている。今後も、さらに研修を深め、支援体制を充実させていきたい。</p>		

<h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> <p>【学校から】○毎月の施設安全点検を入念に行うと共に、日頃から遊具や用具の使い方について指導を繰り返して、子どもの事故防止に努めている。また、避難訓練を定期的に行い、緊急時に素早く安全が確保できるよう努めている。今後も安全点検・安全教育に努めたい。</p>	<h3 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h3> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>【学校から】○地震後、現状復帰に向けて市教委、業者と連携しながら取り組んできた。限られた学校予算の中で、子どもの目線に立って、優先順位をつけて、環境づくりに取り組んでいきたい。液化した運動場については、大規模な修復工事は未定である。子どもの安全面を第一義に考え、計画的に整地作業を進めていきたい。</p>
---	---

### ③家庭・地域社会との連携強化

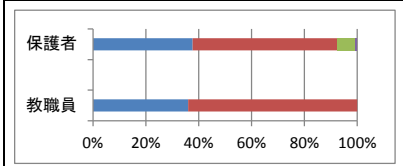
#### 13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



#### 14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

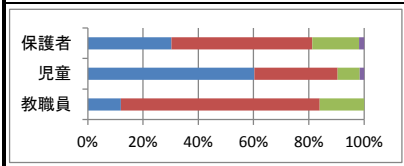


【学校から】○保護者・児童の中に「2」の意見もわずかが見られる。学校便りの発行、毎日のようにホームページの更新を行っているが、今後は教育目標の具体的な成果を保護者により理解していただくように工夫改善していきたい。また、同様に学年・学級通信の内容についても、共通実践をさらに進めていきたい。○各学年、保護者や地域の方々の協力を得て、教育活動を安全面に配慮して達成度を高めている。1年 昔遊び、2年 校区探検 いも料理、5年 ミシン縫い等を行い、保護者の子ども理解、情報の共有にもつながっている。PTA行事についても、毎年 保護者の支援を受けて、運動会の実施、東っ子まつり等を教育目標を達成することができている。

### 本校の教育

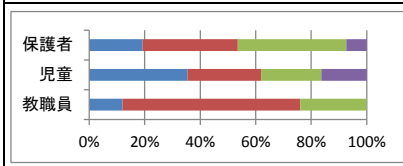
#### 15 気持ちのよい挨拶

本校の児童は、お父さんは家庭でよく挨拶していると思いますか



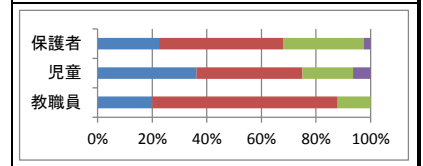
#### 16 読書活動

本校の児童は、家庭でよく読書していると思いますか



#### 17 家庭学習の定着

本校の児童は、よく家庭学習をしていると思いますか



【学校から】○毎日のあいさつ運動、登校指導を行っているが、今後も登校班の班長のリーダーシップの育成及び保護者との連携を深め改善していきたい。○図書主任、図書司書補を中心に、図書室の環境の改善、進んで読書に親しむ実践を行っているが、さらに実践を見直し保護者と連携して取り組んでいきたい。○基本的な学習態度の育成及び基礎基本的な学力の大切さを子どもや保護者に説明し、各学級で徹底するように取り組んでいる。今後も、粘り強く、10分間×学年+10分間という目安となる時間 宿題や自主学習に取り組むように各学年 系統的に徹底するように家庭と連携して取り組み学力向上に努めていきたい。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 毎時間の授業の充実のための教材開発を続けていくとともに、学びノートを中心とした学力充実と厳しい状況の子どもの生活習慣の確立など、個に応じた学習のさらなる徹底を図っていく。
- 学校の職員や児童会だけではなく、PTAや地域の諸団体と連携しながら基本的な生活習慣のキャンペーンの実施などを通して、挨拶、マナーなどの規範意識を育てる指導の徹底を図る。
- 安全、食育、総合・教科学習の面から、保護者・地域との人材交流、情報の共有をさらに進め、地域に根ざした教育を充実させる。特に、食育については、農園での体験活動、調理活動と計画的な取り組みを通して充実するように展開していきたい。
- 新型インフルエンザ等に対応するために、手洗い・うがい・マスク着用など基本的な生活習慣の確立を図る。また、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努めたい。
- 全国標準学力調査（新学力検査）を受けて、より児童の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善及び読書活動、家庭学習の充実を努めたい。
- 体力向上として、年間指導計画を見直し体力づくり月間を設けたりして子どもたちの体力向上に向けて取り組んだ。日々の外遊びの奨励、体育委員会による昼休みの活動、葉間の縄跳び、綱引き等を充実させ基礎体力の向上を図ってきたい。

### 学校関係者評価

- 公開授業や音楽会などの学校行事を通して、子どもたちが楽しく学校生活を送っていることがよく伝わってくる。学校教育目標では、保護者・児童・教職員ともに「3」「4」の割合が昨年度よりも伸びており、学校の取り組みの成果が評価されていると言える。
- 教科指導等では、一人一人のニーズに応じた教育活動の工夫が見られた。10月の自主公開授業や授業参観でも先生方の工夫や努力が子どもたちの力を伸ばしていることが実感できた。
- 道徳、心の教育、人権教育では、校内研修を通して子どもたちが「豊かに関わりあうこと」ができており、取り組んできたことが、人権教育や子どもフォーラムでの子どもの姿につながっている。
- 生徒指導・教育相談では、あいさつの励行や規範意識の醸成を図ってきているが、さまざまな事情を抱えている子どもがおり、細やかな配慮をしながらすべての子どもたちが心豊かに育ってくれるようにしていきたい。壺川小校区では地域の支えがしっかりしているのでこれまで以上に連携・協力を深めて生きたい。
- 健康教育・安全では昨年度の体力向上推進の取り組みが生きているので、今後の子どもたちの活動につなげてほしい。防犯・交通安全については地域と一体になり進めていきたい。